

## 報告事項 5

春日野小学校校舎整備計画について

春日野小学校校舎整備計画について、以下のとおり報告する。

令和元年 1 2 月 9 日 提出

春日野小学校校舎整備計画について

1. 計画説明会

「校舎全棟を改築する案(A案)」と「西校舎を保存活用のうえ大規模改修し、他の棟を建替える案(C案)」について、次の通り校舎整備計画説明会を開催した。

- ・ 日 時：令和元年 11 月 28 日（木） 19:00～20:40  
令和元年 11 月 30 日（土） 10:00～12:30
- ・ 場 所：春日野小学校講堂
- ・ 参加者：保護者 15 名 地域住民 34 名 その他 1 名 計 50 名

11/28	保護者 6 名	地域住民 20 名	その他 1 名	計 27 名
11/30	保護者 9 名	地域住民 14 名		計 23 名

2. アンケート結果

出席者：49名（保護者：15名、近隣：34名）

回 答：46名（保護者：14名、近隣：32名）

◆施設の配置・学習環境面について

結果	A案		C案		どちらでもよい
	A案がよい	A案の改善案	C案がよい	C案の改善案	
保護者	3	3	5	2	1
近隣	6	4	11	10	1
合計	16		28		2

◆施設の管理・運営面について

結果	A案		C案		どちらでもよい
	A案がよい	A案の改善案	C案がよい	C案の改善案	
保護者	6	5	1	0	2
近隣	8	5	10	9	0
合計	24		20		2

◆運動場・公園の管理・運営面について

結果	A案		C案		どちらでもよい
	A案がよい	A案の改善案	C案がよい	C案の改善案	
保護者	9	3	2	0	0
近隣	10	0	9	10	3
合計	22		21		3

## 春日野小学校校舎整備計画について

神戸市教育委員会事務局学校支援部学校環境整備課  
神戸市建築住宅局建築課

### 1. 趣旨

春日野小学校では、校舎の老朽化と学校環境の改善に対応するため、校舎整備を計画するなかで、当初の校舎全面建替え案に加えて、歴史的価値を有する西校舎（昭和7年築）を保存活用して整備する案について、検討してきました。

令和元年9月には説明会を開催し、「校舎全面建て替え案」と「歴史的文化的価値を有する西校舎の保存活用案」について、保護者、地域の皆様にご説明し、ご意見をいただきました。

#### （ 前回説明会の概要 ）

日 時：令和元年9月26日（木）19：00～  
28日（土）10：00～  
場 所：春日野小学校3階講堂  
参加者：保護者・地域のみなさま 計61名

「西校舎の保存活用案」は隣接する春日野公園を小学校の運動場として利用することを前提とした案となっておりますが、前回の説明会やアンケートを通じて公園を運動場として利用するにあたっての課題や、不安に感じる点などのご意見をいただきました。その後校舎配置や運動場の管理方法などの見直しを行い、2案について改善案の検討を進めてまいりましたのでご説明いたします。

### 2. 現状の課題

#### (1) 校舎や設備の老朽化が進行

（西校舎：築87年、北西校舎：築62年、北東校舎：築57年）

#### (2) 既存不適格

（防火区画など建築当初の法令は満足していたが、現在の基準を満たさず）

#### (3) エレベータの整備などによるバリアフリー化がされていない

#### (4) 常設プールの未整備（組み立て式仮設プール）

- ・常設プールをグラウンドに設置すると、グラウンドが十分確保できない
- ・仮設プール設置期間に校内の水圧が下がる

#### (5) 体育館が狭小（天井高5.4m、面積約488㎡）

#### (6) 北東校舎の廊下が外にあり、風雨による影響を受ける

### 3. 各案の課題

A 案（全棟建て替え案）	B 案（西校舎保存活用案）
<p>○運動場面積を確保するため、全棟を建て替えて機能集約化し、高層棟にするため、教室が1階～5階に配置され、児童の上下移動が多い。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高層階に普通教室を配置すると、給食の配膳に負担がかかり、休み時間が十分にとれないおそれがある。</li> </ul> <p>○屋上プールの階下に教室を配置するため、教室フロアの面積が過大となり、教室間の廊下スペースを広くとらざるを得なくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・このため、廊下の採光が十分にとれず暗い。</li> <li>・トイレを廊下スペースにとるため、窓を設置することができず、臭気が溜まりやすくなる。</li> </ul> <p>○建築基準法などの高さ制限により、校舎を南側に配置せざるをえないため、運動場が北側に配置され、日当たりが悪く、水はけが悪くなる。</p> <p>○屋上プール棟の隣接マンションへ、プール使用時の騒音などの影響が懸念される。</p> <p>○ビオトープ・学習園が整備できない。</p>	<p>○春日野公園を学校の運動場として専用利用することによる問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と敷地が分断されており、外部からの侵入の対応が十分にできないおそれがある。</li> <li>・運動場への移動は、道路を横断する必要があり、十分な安全の確保ができないおそれがある。</li> <li>・職員室から運動場が見えず、また、運動場に出るまでに時間がかかり、事故などへの緊急対応ができない。</li> <li>・公園と運動場との兼用は、学校利用時以外に不特定多数の人の利用がすることとなり、学校利用時にゴミや危険物などを除去し、安全点検する必要があり、学校の負担が増える。</li> <li>・運動場内にトイレがなく、学校までの移動に時間を要するため、児童や教員の負担が増える。</li> </ul>

#### 4. 春日野小学校の歴史的・文化財的価値について

神戸市文化財保護審議会委員・関西大学環境都市工学部建築学科准教授  
橋寺知子氏

- 1) 春日野小学校西校舎は、1932年（昭和7年）に竣工した、鉄筋コンクリート造3階建ての建物であり、築後50年以上経ち、歴史的価値があるといえる。
- 2) 鉄筋コンクリート造（RC造）の校舎は、全国的には関東大震災以降広く普及することとなったが、神戸市はそれ以前から校舎のRC造化を推進したことが既往の研究で示されている。RC造の耐震性だけでなく、耐火性を評価してのことと思われる。
- 3) デザインは、合理性・機能性を重んじるモダニズムを基本としつつ、要所に1920年代後半から30年代に流行したアール・デコ様式の装飾が採用され、幾何学的な造形や文様が見られる。建設当時の先端的なデザインを取り入れ、時代の特徴をよく表した建築と言える。
- 4) 神戸市内に現存する戦前のRC造の小学校校舎は、春日野小学校西校舎のほか旧北野小学校と旧二葉小学校を残すのみで、なかでも現役の校舎として使用されているのは春日野小学校西校舎のみである。全国的にも学校として使用されている1950年代以前の建築は数少ないものの、近年、文化財建造物としての価値を保ちつつ、大胆な改修を加え、学校として使い続ける事例が散見される。神戸市の長年の学校建設への取り組みの成果としても、春日野小学校西校舎を歴史的・文化的価値を有する建物として存続を図ることが望ましいと考える。
- 5) 子どもたちへの教育上の観点では、世界的に地球温暖化への対策が喫緊の課題となっており、地球環境への配慮が必要とされるなかで、これまでの使い捨ての文化を見直し、建物の長寿命化を図り、できるだけ長く使うことが重要である。また、子どもたちが歴史的に貴重な建物を長く愛着を持って使うことにより、古いものを大切にする心も養われる。
- 6) なお、特徴的なデザインの部材を切り取って新築の建物に再利用する手法は、記念碑的な扱いであり、特にモダニズム期の建築では、歴史的・文化的価値を十分に継承する手法とは言えない。近年、特に20世紀の建築遺産に関しては、リビング・ヘリテージ（生きている文化遺産）として、配慮した改修は大胆に加えつつ、建物全体を保存し、積極的に活用していくことに意義が認められている。
- 7) 小学校という、市民にとって一番身近な公共建築物が、同じ場所に建ち続け、まちの風景としてあり続けることは、市民にとって貴重な財産であると考えられる。

5. 整備計画の概要

※\_\_\_\_\_：前回説明会（9月）からの変更点

	A案（全棟建て替え案）	C案（西校舎保存活用案）
共通	二足制	
建物配置	<p>西校舎（戦前校舎）を含め、新校舎を敷地南側に集約し、高層化を図り2期に分けて建設(地階・地上5階建)。</p> <p>I期（東棟）体育館、各教室等 II期（西棟）プール、各教室等</p>	<p>西校舎を保存活用し、新築棟を東側に建築。春日野公園をグラウンドとして整備し、学校が専用利用。</p> <p>I期（南棟）<u>体育館、プール、各教室等</u> II期（北棟）<u>各教室等</u> III期（西校舎）全面改修（内装とも）</p> <p>・西校舎(3階建)を保存活用し、学校敷地東側に新校舎を2期に分けて建設(地階・地上4階建)。</p>
教室配置	<p>・普通教室を<u>1階～3階</u>に配置。</p> <p>・普通教室は南、北向き。 （一部の普通教室は北向きに配置）</p> <p>・廊下や便所を建物の中心部に配置。</p>	<p>・普通教室を1～3階に配置。</p> <p>・普通教室は東、西向き。 中庭を配置し、片廊下型で廊下や便所の採光を確保。</p> <p>・中庭及び西校舎3階講堂を活用し、ゆとりある多目的学習スペースを整備。</p> <p>・<u>職員室を校舎北側2階に配置</u>し、グラウンドを視認できるようにする。</p>

	A案（全棟建て替え案）	C案（西校舎保存活用案）
運動場	<p>グラウンド面積 約 2,400 m<sup>2</sup></p> <p>・敷地北側にグラウンドを整備。 （校舎とグラウンドとの一体性があり、相互の連絡が容易）</p>	<p>グラウンド面積 約 2,300 m<sup>2</sup></p> <p>・春日野公園をグラウンドとして利用。 （学校が専用利用し、土日祝などは一般開放）</p> <p>※警備員を配置し、管理・清掃、安全対策を行う。 ※車両通行止め時間帯（7:30～17）は、学校と公園出入り口を移動式ゲートでつなぎ、学校専用通路を確保。 ※全面に防球ネット、公園北側に遊歩道を整備。 ※<u>学校北側にグラウンドからの利用できるトイレを配置。</u></p> <p>・グラウンド整備工事期間中、グラウンドが使用できない。 →体育館に空調整備。</p>
事業費	約 38 億円	約 41 億円
スケジュール	<p>R1～2 年度 設計</p> <p><u>R3.夏</u> 着工</p> <p><u>R5.2</u> I 期完成</p> <p><u>R6.12</u> II 期完成（R7 よりプール利用可）</p> <p><u>R7.1～9</u> グラウンド整備</p>	<p>R1～2 年度 設計</p> <p><u>R3.秋</u> 着工</p> <p><u>R4.12</u> I 期完成 <u>（R5 よりプール利用可）</u></p> <p><u>R6.8</u> II 期完成</p> <p><u>R6.9～R7.9</u> III 期 西校舎全面改修</p> <p><u>R7.10～R8.1</u> 遊具広場整備</p> <p>※体育館整備後に、春日野公園のグラウンド整備工事</p>

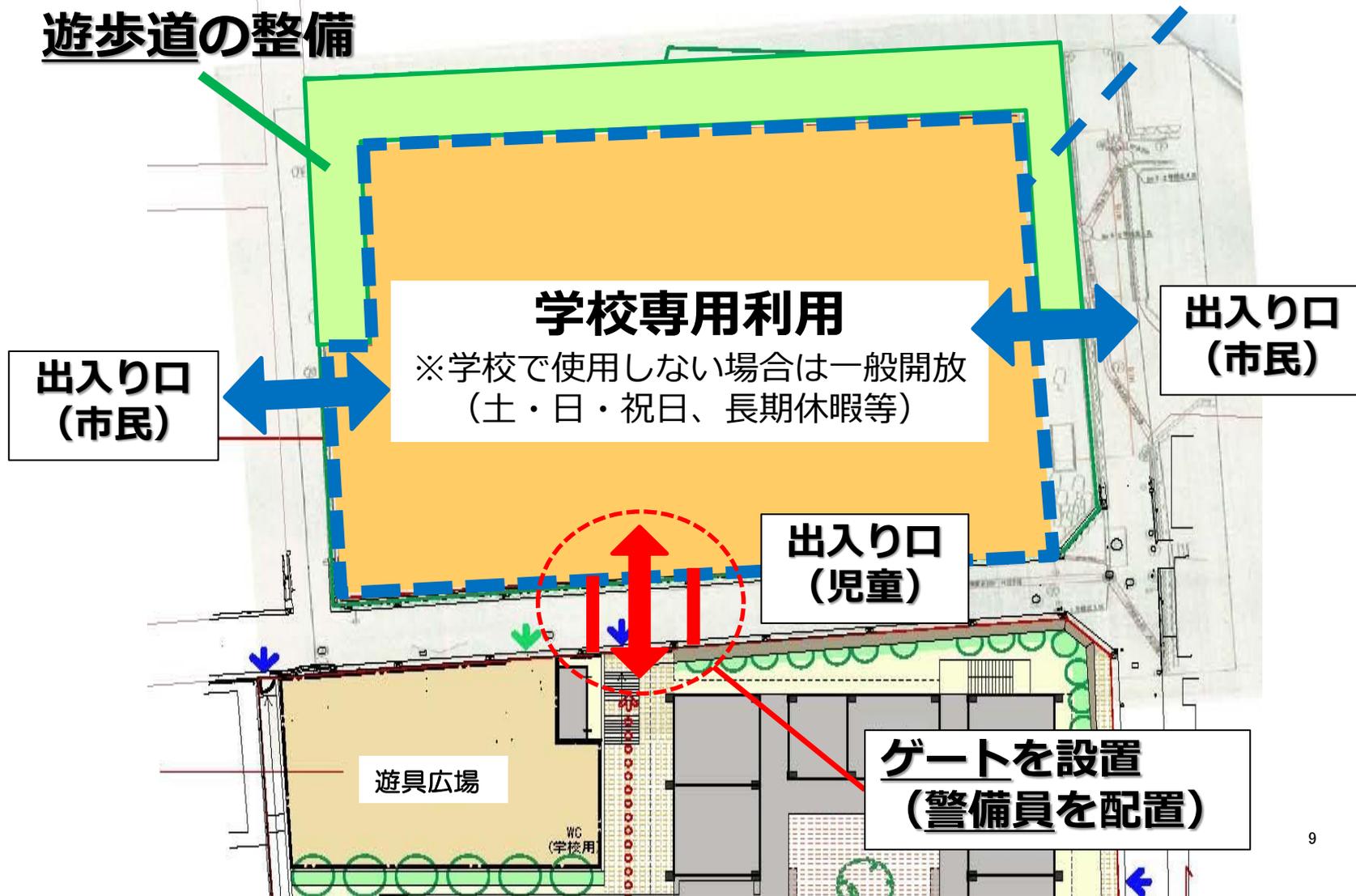
※スケジュールについては、令和元年 12 月に基本設計の着手を前提としたものです。

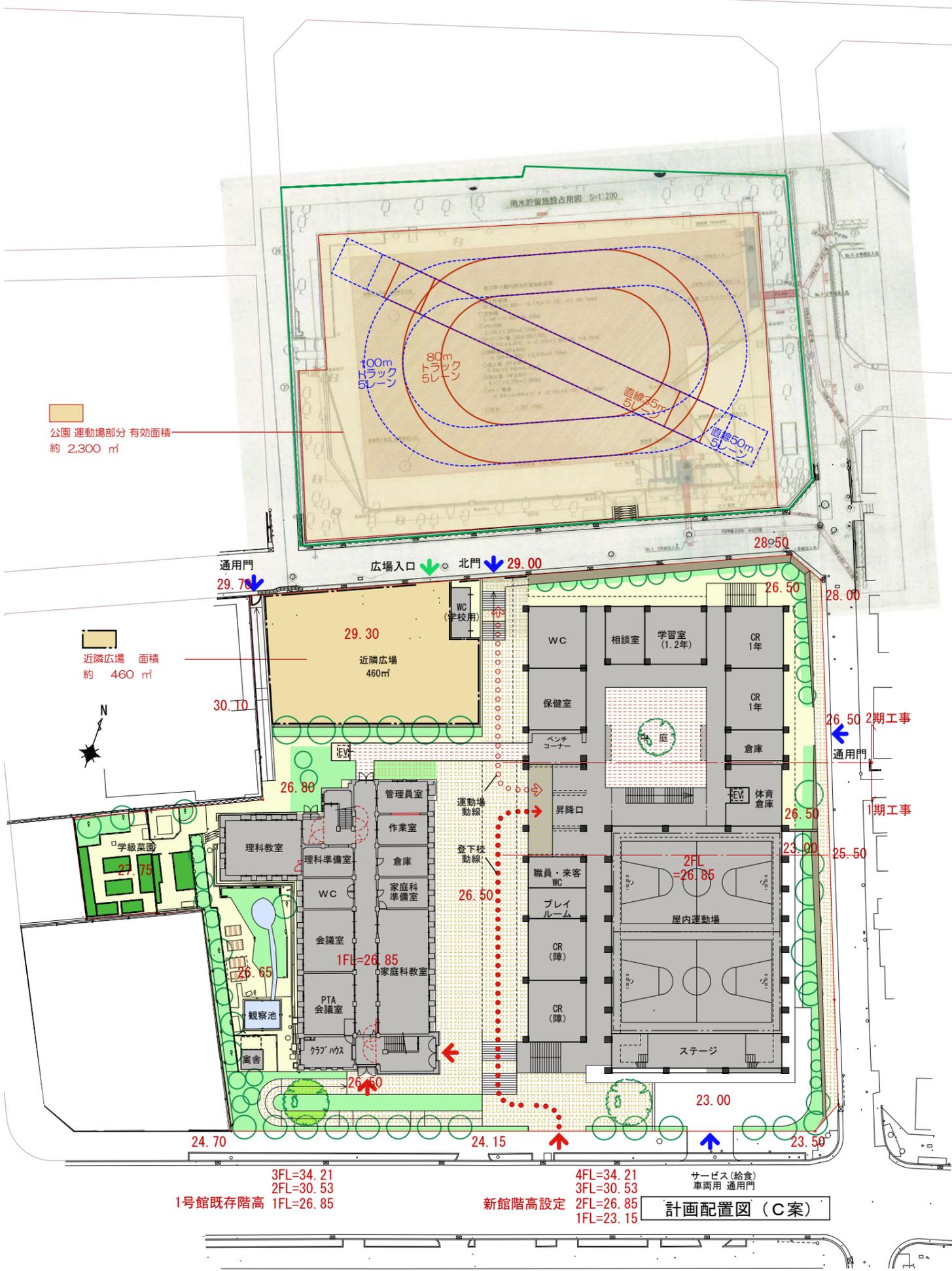
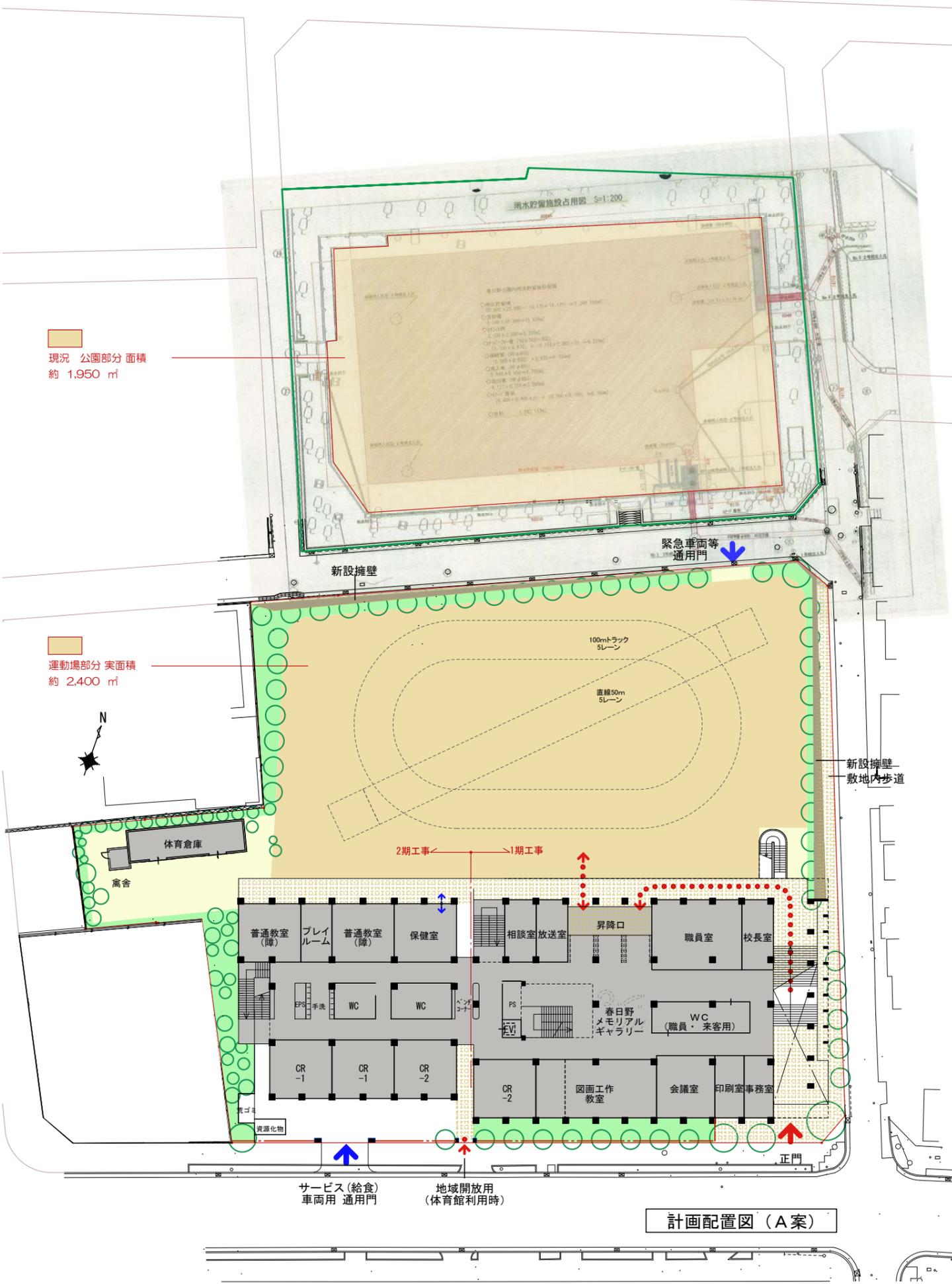
	全棟建て替え案	西校舎保存活用案
○施設の配置・ 学習環境	<p>○運動場面積を確保するため、全棟を建て替えて機能集約化し、高層棟にするため、教室が1階～5階に配置され、上下移動の負担が多い。</p> <p>※普通教室は、1階～3階に配置し4,5階は特別教室とするが、学級数が増加した場合は4,5階にも普通教室を配置。</p> <p>○屋上プールの階下に教室を配置するため、教室間の廊下スペースを広くとらざるを得なくなる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・廊下の採光が十分にとれない。</li> <li>・トイレを廊下スペースにとるため、窓を設置することができず、臭気が溜まりやすくなる。</li> </ul> <p>○敷地面積が十分に確保できないため、ビオトープ、学習園を撤去せざるを得ない。</p>	<p>○校舎敷地面積を確保できるため、各棟とも教室は3階までであり、校舎の高さを抑えることができる。</p> <p>○校舎棟に中庭を配置することにより、風通し、採光が確保できる。</p> <p>○2.5教室分程度の広さの中庭に人工芝を張り、休み時間・放課後に低学年用の運動スペースとして使用することができる。</p> <p>また、好天時には、屋外の多目的スペース、ランチルームなど、多用途の使用が可能。</p> <p>○丁寧に手入れされたビオトープ、学習園を現存のまま使用することができ樹木や花壇など自然への近接感がある。</p>
○施設の管理・ 運営	<p>○5階に普通教室を配置すると、給食の配膳に負担がかかり、休み時間が確保できないおそれがある。</p> <p>○屋上プール棟の隣接マンションへ、プール使用時の騒音などの影響が懸念される。</p>	<p>○職員室は、公園と同じ高さとするため、2階に配置する。</p>

	全棟建て替え案	西校舎保存活用案
○運動場・公園の管理・運営	<p>○校舎から運動場への移動距離が短い。</p> <p>○建築基準法などの高さ制限により、校舎を南側に配置せざるをえないため、運動場が北側に配置され、日当たりが悪く、水はけが悪くなる。</p>	<p>○春日野公園を学校の運動場として利用することによる問題点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と敷地が分断されており、外部からの侵入の対応が十分にできないおそれがある。</li> <li>・運動場への移動は、道路を横断する必要があり、十分な安全の確保ができないおそれがある。</li> <li>・職員室から運動場が見えず、また、運動場に出るまでに時間がかかり、事故などへの緊急対応ができない。</li> <li>・公園と運動場との兼用は、学校利用時以外に不特定多数の人の利用がすることとなり、学校利用時にゴミや危険物などを除去し、安全点検する必要があり、学校の負担が増える。</li> </ul> <p>⇒・職員室を2階北面に配置し、公園（運動場）が見えるようにし、職員室から道路へ直接出入りできる扉を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公園を学校専用利用とし、管理業務を委託する。（道路移動式ゲートの管理、フェンス内の安全管理等）</li> <li>・学校敷地内の道路南側に学校用トイレを設置。</li> </ul> <p>○公園の一般利用が制限される。</p> <p>⇒（代替機能の整備）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未就学児童が一般利用できるように学校敷地内に遊具広場を整備する。</li> <li>・公園北側を遊歩道として整備する。</li> <li>・フェンス内面積が拡張され（約1,000㎡→約2,300㎡）、土日や学校長期休暇での球技利用が可能。</li> <li>・体育館に空調整備し、市民利用できるようにする。</li> </ul>

## (全面) 防球フェンスを設置

### 遊歩道の整備





□【A案】全棟建て替え案

5階	プール	特別教室(1)	体育館
4階	特別教室(1)・多目的室(2)	特別教室(2)	
3階	普通教室(6)	図書室・ 特別教室(2)	
2階	普通教室(6)	クラブハウス 生活教室	
1階	保健室・普通教室(3)・ 特別支援教室(2)・プレイルーム	普通教室(1) 校長室・職員室・事務室・多目的室(1)	
地階	給食室	特別教室(1)・PTA会議室・郷土資料室・ 備蓄倉庫	

※ ( ) 内は教室数

□構造規模	新校舎	鉄筋コンクリート造	地上5階 地下1階
	体育倉庫	鉄筋コンクリート造	地上1階

□延べ床面積 新校舎 約7,660㎡

□建築面積 約2,260㎡

□南面道路からの建物高さ 約28.5m

□【C案】西校舎保存活用案

西校舎		新校舎	
4階			プール
3階	図書室・特別教室(1)	渡り廊下	普通教室(7)・多目的室・倉庫
2階	特別教室(4)・生活科室 児童会室	渡り廊下	普通教室(6)・校長室・職員室・事務室・倉庫
1階	特別教室(2)・会議室 管理員室・作業室・倉庫 PTA 会議室・クラブハウス	渡り廊下	普通教室(3)・特別支援教室(2)・プレイルーム・保健室・倉庫
地階			多目的室(2)・給食室・備蓄倉庫・倉庫

※ ( ) 内は教室数

□構造規模	新校舎	鉄筋コンクリート造	地上 4 階 地下 1 階
	既存西校舎	鉄筋コンクリート造	地上 3 階

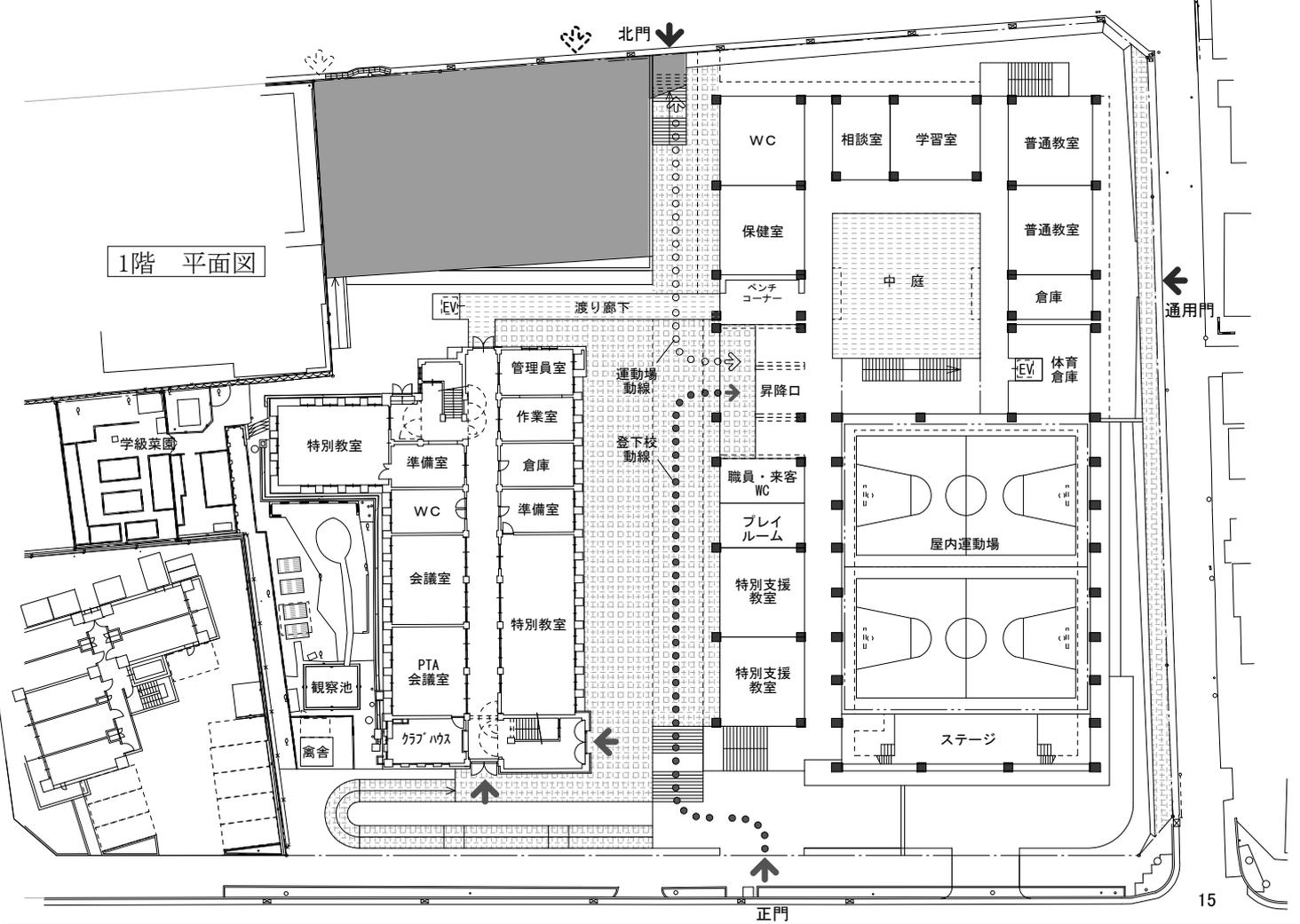
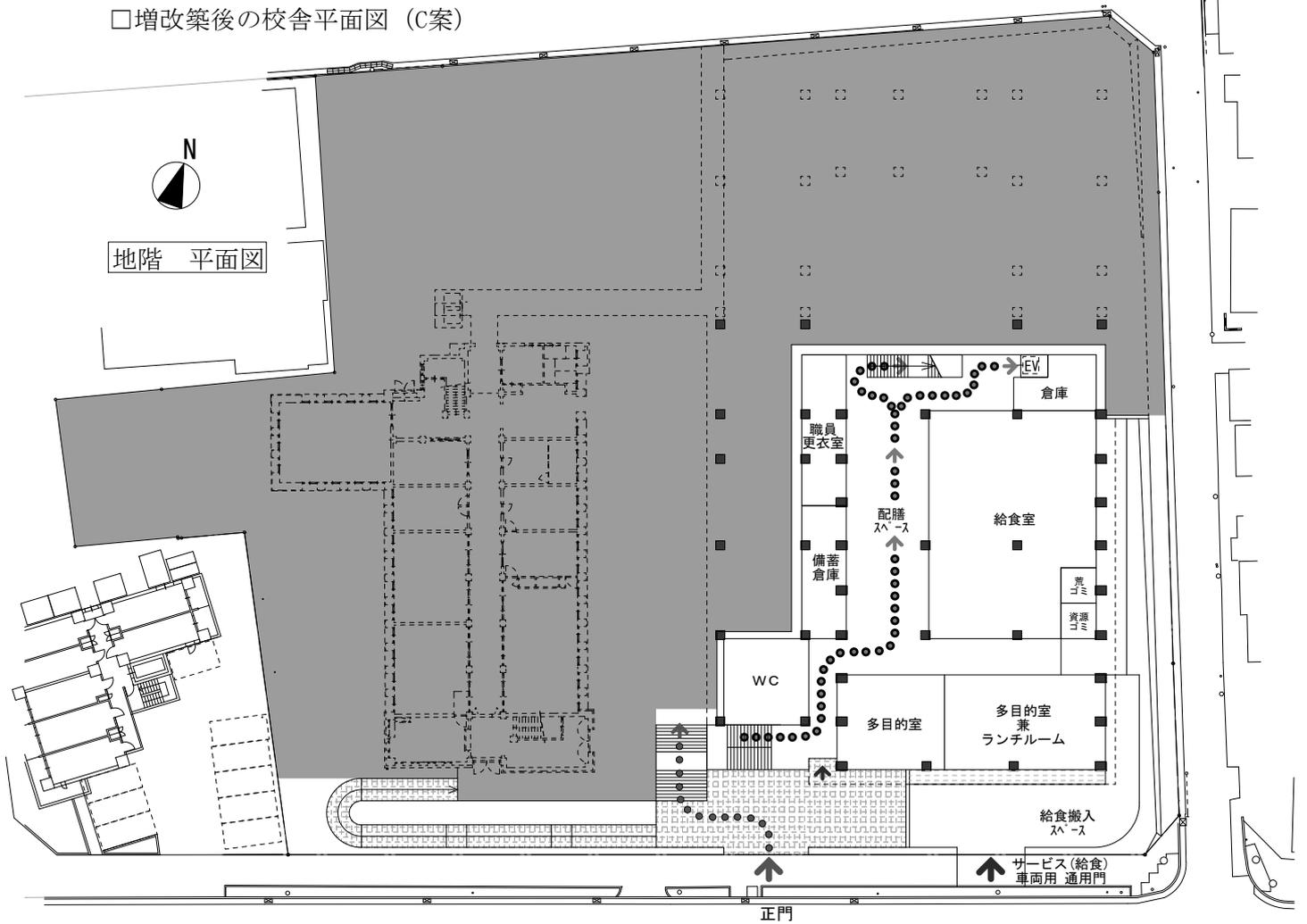
□延べ床面積	新校舎	約 5,330 m <sup>2</sup>
	既存西校舎	約 2,100 m <sup>2</sup>
	計	約 7,430 m <sup>2</sup>

□建築面積	約 2,800 m <sup>2</sup>
-------	------------------------

□南面道路からの建物高さ	約 22.0m
--------------	---------

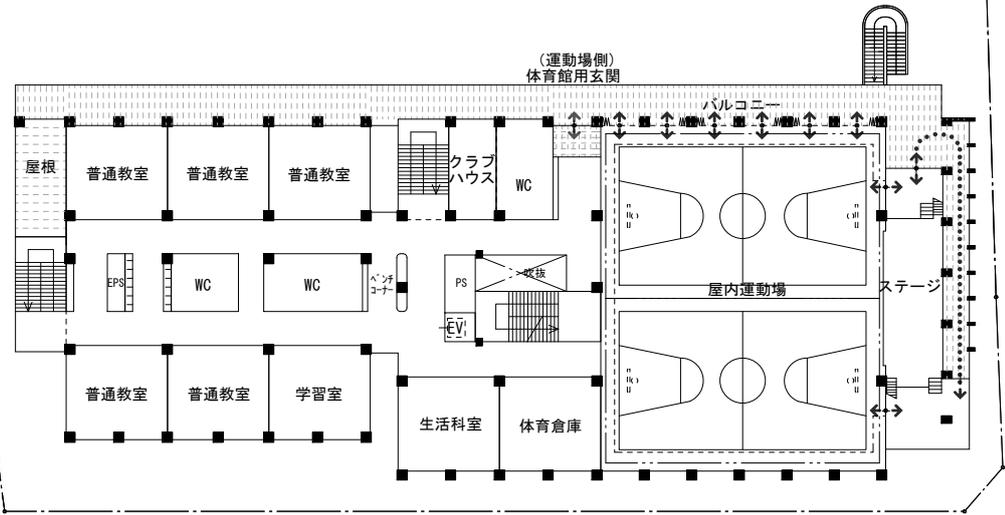


□増改築後の校舎平面図 (C案)

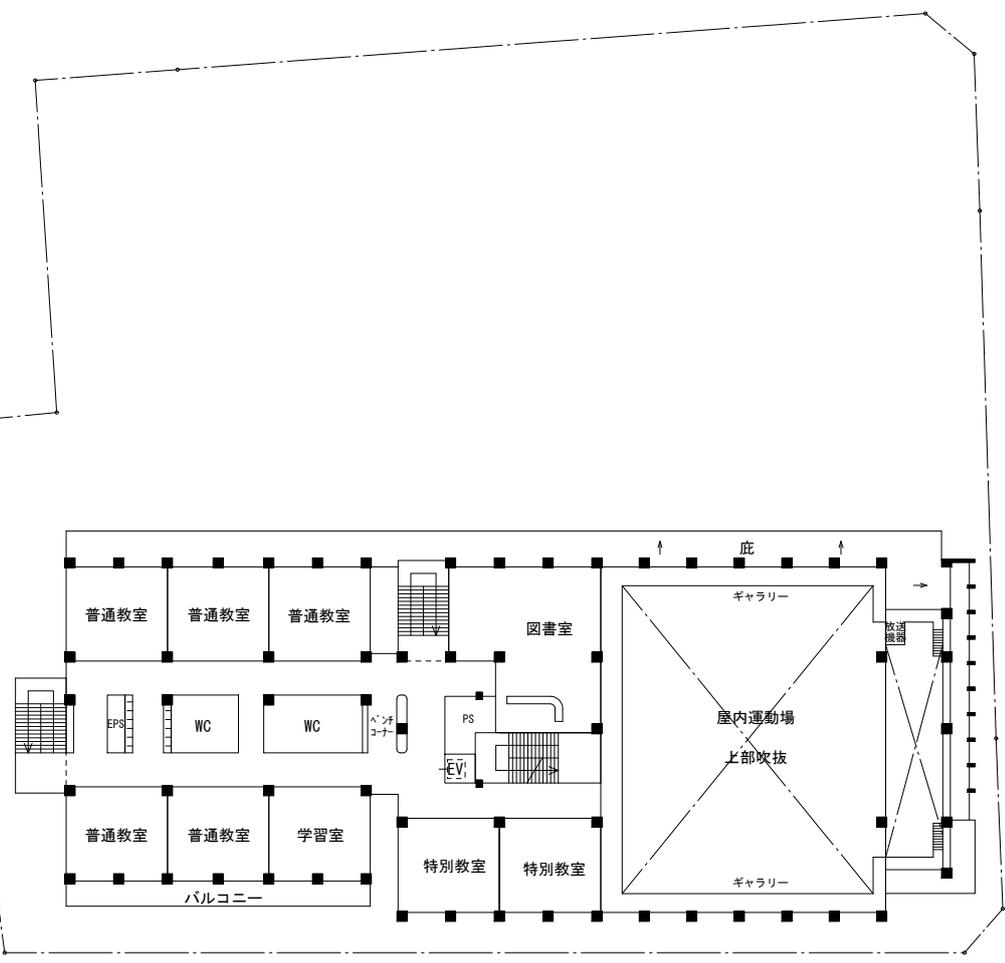




2階 平面図



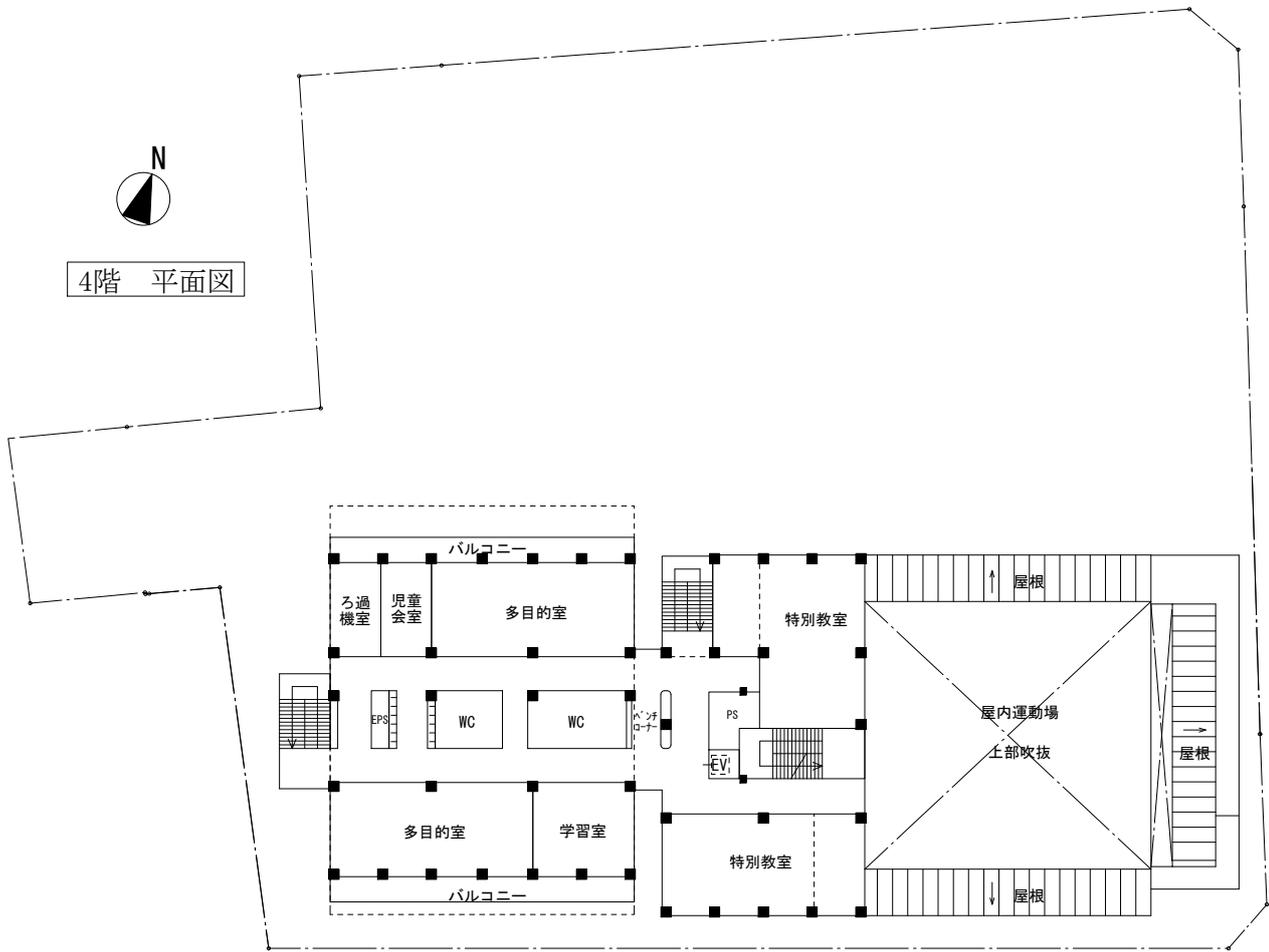
3階 平面図



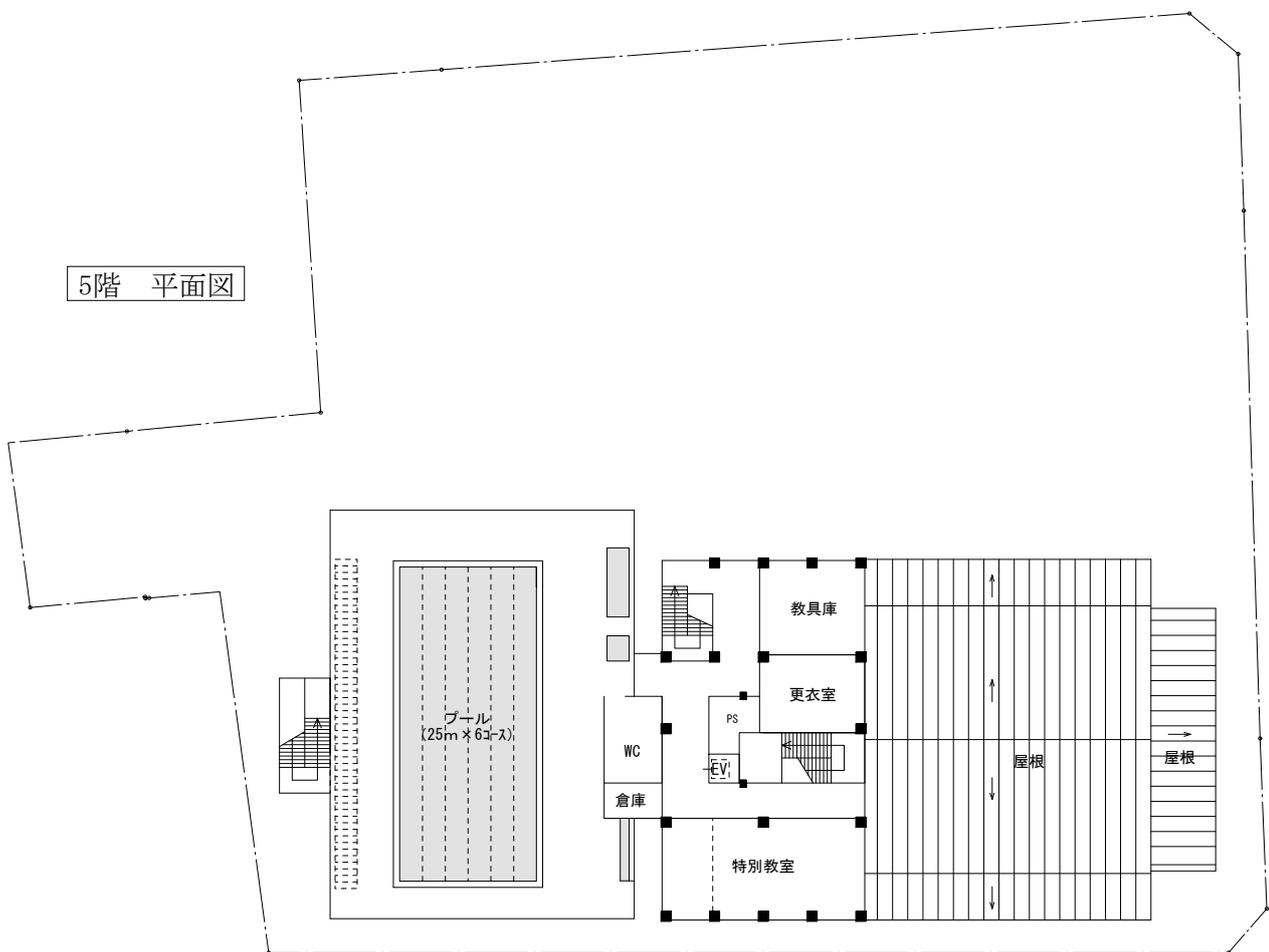




4階 平面図



5階 平面図





4階 平面図

